

鳥取大学医学部法医学分野で解剖・検案を受けた方 ご遺族等の皆様へ

「死後画像 CT（Autopsy imaging: Ai）の画像データから検討した日本人における仙結節靱帯の骨化（Ossification of sacrotuberous ligament: OSTL）の発生率」について

はじめに

鳥取大学医学部社会医学講座法医学分野では、解剖または検案を受けるために搬送された方に対して、全例に死後画像検査を実施しており、この画像検査から得られる情報を基に研究を実施しています。

この研究は鳥取大学医学部倫理審査委員会の承認を経て、医学部長の承認を受けています。詳細は以下のとおりです。

1. 研究概要および利用目的・方法

本研究では、2019 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日までの期間に、鳥取大学医学部社会医学講座法医学分野において、鳥取県警察などの公的な機関の依頼を受けて実施した解剖または検案時に死後画像検査を実施しており、その画像データを参照できる 18 歳以上の日本国籍を有する方の調書等から情報を集めさせていただき、「仙結節靱帯の骨化が認められる割合（発生率）」を調査します。

すべての情報は、鳥取大学医学部社会医学講座法医学分野で集計されます。また、死後画像検査は、鳥取大学医学部社会医学講座法医学分野で解剖または検案時に頭部から足を含めて撮影した全身の CT 画像検査で得られた、既存のデータを用います。なお、情報・画像データ等は、研究責任者が責任を持って保管、管理します。

本研究の対象となる故人のご遺族は、他の研究対象者（ご遺族）への個人情報保護や本研究の独創性の確保に支障がない範囲で、研究計画書及び研究の方法についての資料を入手又は閲覧することができます。希望される方は、遠慮なく問合せ窓口にお申し出ください。

2. 取り扱う情報

故人の調書等から以下の項目を集めさせていただきます。

【故人の情報】

年齢、性別、国籍、Body mass index（体格の指標）、既往歴、内服薬、病院への通院歴、最終生存日（推定も含む）、事例発覚日、画像所見

3. 研究期間

この研究は、鳥取大学医学部長が研究の実施を許可した日から 2025 年 10 月 31 日まで行う予定です。

4. 個人情報保護の方法

故人の情報は、研究責任者が責任をもって保管、管理します。また、氏名、イニシャル、生年月日、住所、解剖・検案実施日などの直ちに個人を識別できる個人情報は匿名化*され、本研究では匿名化された情報を使用します。このようにして故人の個人情報の管理については十分に注意を払います。

*匿名化について：本研究にご提供いただく情報については、故人の氏名、住所、生年月日など、故人を直ちに特定できるような情報をすべて削除し、代わりにこの研究用の登録番号をつけます。なお、研究の過程で情報がどの故人のものかを知る必要がある場合も想定されます。その場合に備えて、情報と故人を結びつけることのできる対応表を作成させていただきますが、この対応表は研究責任者によって鍵のかかる保管庫で厳重に管理されます。

5. 研究への情報提供による利益・不利益

利 益・・・今回の研究に情報をご提供いただいた方とそのご遺族等には、特に利益と考えられるようなことはございませんが、研究の成果は、将来の個人識別法や臀部痛の診断・治療の進歩に有益となる可能性があります。なお、情報を使用させていただいた方のご遺族等への謝礼等もありません。

不利益・・・調書等からの情報収集のみであるため、特にありません。

6. この研究終了後の情報の取り扱いについて

今回、集めさせていただき故人の情報や画像データが医学の発展に伴い、法医学に加えて他の診療科での診断や治療に新たな重要な情報をもたらす可能性があります。このため、故人の情報や画像データは、この研究終了後も保存させていただき、他の研究に使用させていただくことがあります。その場合は、新たに研究計画をたてて研究に参加する医療機関の倫理審査委員会での審査を経て、他の研究に使用させていただきます。

情報・画像データは、警察など公的機関への情報提供に応じる可能性があるため、当該研究の終了後も、個人を特定できない状態にして適切に保管を継続します。

7. 研究への情報使用の取り止めについて

故人の情報や画像データを研究に用いられたくない場合には、いつでも取り止めることができます。取り止めを希望された場合でも、担当医や他の職員と気まずくなることはありませんし、何ら不利益を受けることはありませんので、下記【問い合わせ窓口】までお申し出ください。

取り止めの希望を受けた場合、故人の情報や画像データを使用することはありません。この場合には、個人を特定できない状態にして、速やかに廃棄させていただきます。

しかし、取り止めの希望した時点で、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように、結果を廃棄できない場合もあります。

8. 当該臨床研究に係る資金源について

本研究は、鳥取大学医学部社会医学講座法医学分野の研究費で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

9. 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、故人が特定される情報は全て削除して公表します。情報の秘密は厳重に守られますので、第三者に故人の個人情報 that 明らかになることはありません。

10. 知的財産権の帰属について

本研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は鳥取大学に帰属し、あなたには帰属しません。

11. 問い合わせ窓口

本研究についてのご質問だけでなく、故人の情報や画像データが研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、故人の情報や画像データの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、下記の窓口までお問い合わせ下さい。

所属：鳥取大学医学部 社会医学講座 法医学分野

職名：医学専攻 博士課程（研究生）

担当者：加藤 百音

TEL：0859-38-6123（平日 8 時～16 時）

12. 研究実施機関および研究責任者

鳥取大学医学部 社会医学講座 法医学分野

飯野守男 教授

*この研究に関する情報は、鳥取大学医学部のホームページに掲載しております。

(<https://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/departments/center/amirt/2115/3186/3294/>)